



# 河辺林通信

建部北町の森から

2017年 4月号 No.228

太陽に向かって大きく花開くキクザキイチゲ

## 会員募集のご案内

さて、4月1日から遊林会も新年度スタート。昨年は事務局7人のうち2人同時に変わるという激変の年でしたが、今年は事務局の顔ぶれは変わらずスタートを切れました。今年はスキルアップした職員で、さらに充実した事業をしていきたいと思っています。  
しかし、何をするにも時間と人とお金が足りません…

そこで、今年も色々な人の助けを求めます！  
体力を貸したる～！という方は、活動で汗を。  
体力はないけど財力（！）は！という方は、寄附を。  
知恵を貸すよ、と言う方は正会員や賛助会員で。  
物や差し入れも歓迎です。  
遊林会の活動ご支援、どうぞよろしくお願ひします。

## 2016年度のあれこれ

2016年度の遊林会は、相変わらず忙しい日々ではあったのですが、楽しく過ごせたように思えます。

里山保全活動事業では、河辺いきものの森では33回630人が、蒲生梵釈寺では10回145人が、森に入り、茂りすぎた木や草の伐採、伐った木を薪にする、竹林の整備など様々な活動で汗を流しました。以前の数字と比べると、参加者の人数は減っています。けれども若い、新しい参加者も見られます。ただ、最近は、定年退職された方の新メンバーが少ない気もするので、来年度はちょっと力をいれたいなあと思っています。

環境学習事業では、約7,500人の子どもたちに森への興味関心を持つもらえるようプログラムを行いました。一般対応を含めると団体の対応回数は約250回！毎日どこかの団体を対応したことになります。

今後も森を楽しんでもらうのはもちろんですが、私たち自身が河辺の森以外の様々な環境でも、自然の大切さやおもしろさを伝えられるインタークリター（自然案内人）として、より多くの笑顔を作れるよう成長していきたいと思います。



そして、2016年度は新たなことにも挑戦しました。1つめはエコツアーア。夏に愛知川の中流、上流で地元の方と川の楽しさを伝えるイベントを行いました。永源寺の川に入ってアユやイワナをつかむ。つかみ方は、その場のプロが教えてくれる。今思えばとっても贅沢なイベントです。伝統漁法や愛知川の美しさなど、子どもだけでなく私たちも楽しく、教わることの多いイベントでした。

2つめは東近江市との他団体との積極的な交流と、NPOの運営についてコンサルタントの人に支援をしてもらい、遊林会についてアドバイスしていただいたことです。アドバイスいただいた中で印象的だったのが、「19年の積み重ねがあるのだから、たくさんの人の関わりがあるはず。その人達と活動を振り返ったり、対話することが、遊林会をさらに強くする」ということです。本当に多くの人に支えられ、会ってきた19年の実績をしっかり振り返ること。そして、20年の節目に向けて、森のことや遊林会について熱く話せる場を設けるのもいいかもしれません。また、皆様にお声かけすることもあるかも知れません。その時はよろしくお願ひしますね。

## ●3月の作業だより

### 第2土曜日（3月11日）33人

① 枝集め班 森の中にある、雪で折れた枝を、拾いました。



回収した枝は、キャンプで薪として使用します。

② 水辺の外来種退治班 チクゴスズメノヒ工を退治しました。

放っておくと増えてしまうので、寒いですが退治しました。

③ 炭焼き準備班 炭を焼くための前段階。新弟子募集中！

④ 機械刈り班 草原広場のススキを刈り、持ち出しました。

⑤ お昼ご飯班 みんな大好き！遊林会特製カレーでした。

### 3月観察会

今回の観察会は「感察会」を行いました。感察とは、視覚を使わない観察会の造語です。

人間は、視覚での情報が約90%を占めています。そこで、いつもとは違う森を味わってもらうために、目をつぶって、鼻と耳だけで森を感じてもらいました。

鳥の声も十人十色。「ピチュピチュ」と聞これば、「ピヨピヨ」と聞こえたり。目が開いていると聞こえない風の音なんかも聞こえたりしました。

また、触覚を働かせて風がどこから吹いているのかなどを当てたりしました。ただ、匂いはなかなか無く、音や感触になってしまいました。

そこで、近くに9分咲のウメの木があったので最後に寄っていきました。感察会で感覚を研ぎ澄ましていたようで、みんなウメの木の近くに行ったところ、「ウメの香りがする」と言っていました。

視覚を使わないで森を堪能する。そんな日もたまにはいいものですね。



### 木ままクラブ（3月2日）12人

前月に詰めておいた薪を炭にするために、炭窯に火を付けました。

森に落ちているたくさんの枝を拾い、柴をたくさん作成しました。

### 梵釈寺（3月16日）18人

伐採しておいたスギの大木を三等分して持って帰ってきました。また、薪として使用するために置いてあった、丸太を薪割り機で薪にしました。

### 第4水曜日（3月22日）18人

午前中は主に柴作り。午後は、モミジの林にあった丸太を40cmに切りそろえました。太い物ものは薪に、細い枝などは柴にしました。

### 4月の活動日

4/8 (土)	林内整備 水辺外来種退治
4/13 (木)	梵釈寺
4/20 (木)	木まま 薪づくり
4/26 (水)	林床整備 薪づくり

朝9:00～(遅刻可)  
第2土曜日は、9:00より  
1時間ほど観察会を行います

### 春休み突入！

春休みに入り、1日目からさっそくイベントでした。この日は小学1～3年生とデイキャンプ。たき火で作ったお昼ご飯もみんな美味しく出来上がり、その頃には今日初めて出会った子ども達も仲良くなっていました。お昼からもゆっくり森たんけんをして、いきものをつかまえたり、楽しい一日になりました。



「たき火にちょうせん！」や「大きな木と遊ぼう！」も、ぽかぽか天気にも恵まれて、笑顔と笑い声があふれ、今年の春休みもとってもにぎやかです！

森の植物やいきものたちも、だんだん春らしくなってきました。ウグイスがさえずり、キクザキイチゲも満開に！日々の森の様子はブログ「かわべえフォトログ2」でも写真たっぷりで詳しくお伝えしていますので、こちらの方もぜひのぞいてみてください。



### 編集後記

もう4月！今年もあっという間だったなあ…。2016年度は事務局のメンバーが変わったり、永源寺でのエコツアーや博覧会といった初めての場所でのイベントもあったりでドキドキの多い年だったなと思います。今年度の事務局は引き続き同じメンバーです。今年度も遊林会をよろしくお願いします！（綿貫）

#### 【発行者】

特定非営利活動法人  
里山保全活動団体 遊林会  
代表理事 井田 三良  
〒527-0003  
滋賀県東近江市建部北町531  
河辺いきものの森内  
電話：0748-20-5211  
メール：ikimono@e-omi.ne.jp